

2025年（令和7年）
5月11日 日曜日
第1977号

京都自動車新聞



京ト協 祇園で交通安全啓発
各地区整備協議会が総会
スズキ自販京都 社員大会開催
AJA 4月例会 内山新体制始動
◀ドライブドア タウン誌創刊

2
4
6
7
8

発行所 京都自動車新聞社 京都市伏見区竹田向代町 51-5（京都自動車会館内） 電話（075）672-0552 ファクス（075）682-0205 メール access@kyotojidosha-np.jp https://kyotojidosha-np.jp

種別		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
登録自動車	総検査台数(A)	27,166	26,334	26,860	31,069	24,156	29,874	28,584	26,592	25,879	26,830	29,761	37,565	340,670
	持込検査台数(B)	7,838	7,448	7,801	8,637	6,973	8,157	8,492	7,670	7,103	7,337	8,219	10,086	95,761
	ユーザー車検台数(C)	3,115	2,860	3,000	3,411	2,771	2,994	3,218	2,901	2,803	2,637	3,063	3,875	36,648
	ユーザー車検率(C/A)	11.5%	10.9%	11.2%	11.0%	11.5%	10.0%	11.3%	10.9%	10.8%	9.8%	10.3%	10.3%	10.8%
	〃(C/B)	39.7%	38.4%	38.5%	39.5%	39.7%	36.7%	37.9%	37.8%	39.5%	35.9%	37.3%	38.4%	38.3%
軽自動車	総検査台数(A)	14,762	14,941	14,894	15,790	12,987	15,398	16,053	15,060	13,275	15,472	16,509	20,007	185,148
	持込検査台数(B)	4,095	4,214	4,087	4,322	3,434	3,957	4,471	4,090	3,441	4,265	4,234	5,037	49,647
	ユーザー車検台数(C)	1,436	1,424	1,323	1,443	1,155	1,260	1,452	1,318	1,175	1,412	1,383	1,625	16,406
	ユーザー車検率(C/A)	9.7%	9.5%	8.9%	9.1%	8.9%	8.2%	9.0%	8.8%	8.9%	9.1%	8.4%	8.1%	8.9%
	〃(C/B)	35.1%	33.8%	32.4%	33.4%	33.6%	31.8%	32.5%	32.2%	34.1%	33.1%	32.7%	32.3%	33.0%
合計	総検査台数(A)	41,928	41,275	41,754	46,859	37,143	45,272	44,637	41,652	39,154	42,302	46,270	57,572	525,818
	持込検査台数(B)	11,933	11,662	11,888	12,959	10,407	12,114	12,963	11,760	10,544	11,602	12,453	15,123	145,408
	ユーザー車検台数(C)	4,551	4,284	4,323	4,854	3,926	4,254	4,670	4,219	3,978	4,049	4,446	5,500	53,054
	ユーザー車検率(C/A)	10.9%	10.4%	10.4%	10.4%	10.6%	9.4%	10.5%	10.1%	10.2%	9.6%	9.6%	9.6%	10.1%
	〃(C/B)	38.1%	36.7%	36.4%	37.5%	37.7%	35.1%	36.0%	35.9%	37.7%	34.9%	35.7%	36.4%	36.5%
	ユーザー車検前年対比	4551/99%	4284/98%	4323/97%	4854/114%	3926/99%	4254/100%	4670/109%	4219/103%	3978/111%	4049/109%	4446/101%	5500/112%	

24年度の検査台数は7%増、22年度対比で3%増。とりわけ人気車種は、対前年同期比4・

府下の24年度検査台数 前年4%増の52万5千台

京都府下の2024年4月から25年3月にかけての継続検査台数は、52万5818台と4年連続で50万台を上回った。直近20年間では10年度の52万7365台に次ぐ台数で、11年度以降最多。新車の供給制約に伴う代替の先送りを引き起こしたコロナ禍を経てもなお、検査対象台数の多いいわゆる「表年」と、台数の少ない「裏年」が順に到来する従来のサイクルに大きな変容を来さなかった格好だ。ただ、「表年」と「裏年」のトレンドは通常、年央に切り替わるのに対し、昨年度に限っては年間通じて増加傾向に振れており、サイクルに何らかのずれが生じているとみられる。

直近20年で2番目の多さ

でなおも新車の供給遅延が尾を引き、代替予定だった車両に乗り続けながら納車待つケースが引き続き見られ、これが検査台数の増加に直接的に作用したと思われる。しかしながら、保有台数は24年3月末で130万7867台と、前年同期比でおよそ1100台増にとどまった点を踏まえると、検査台数の増加トレンドは一時的な現象に過ぎず、25年度以降に揺り返しが起こるとみるのが妥当だろう。

月別で見ると、前年実績を割り込んだのは、昨年8月、同11月、今年2

月の3カ月のみで、10月はほぼ前年と同数。これらを除く8カ月は増加し、増率の最大値は6月の27・8%だった。持ち込み検査数は14万5408台で3・4%、指定整備は38万410台で1・1%それぞれプラス。全体に占めるユーザー車検の割合はほぼ横ばいながら、続伸した。カテゴリー別では、軽自動車が増加傾向にあり、前年比で1・5%、23年度比で1・8%それぞれ伸び、5年連続で過去最多を更新。総台数に占める軽自動車比率は35・2%とやや下落し

た。登録自動車も34万670台と前年比で6・5%、23年度比で3・6%増。持ち込み検査は登録車、軽共に増。指定は登録で減、軽で増。ユーザー車検率は登録で増、軽は前年と同率だった。

24年度の検査台数は7%増、22年度対比で3%増。とりわけ人気車種は、対前年同期比4・

3団体19議案を協議 J U 京都が理事会開催

京都府中古自動車販売協会・商工組合・防犯犯絡協議会（東将之会長、理事長）の理事会が4月23日開かれ、新年度事業計画および収支予算などが、取りまとめられた。議案は、5月19日に開催する総会に上程される。審議された議案は、3団体で合計19事項に上っ

は、J U クレジット取り扱い実績、封印取り付け受託実績のほか、青年部会による京都新聞社福祉事業団への寄付などに関する活動実績を記載。新年度の事業計画では、調査研究事業、オートオークションなどの共同経済事業、金融事業をはじめとする九つの取り組みを企画した。



支予算案も策定した。

また、5月に開催する総会後の懇親会の席上で、24年度のJ U クレジット表彰、京都オートオークション（K C A A 京都）出品台数表彰、J U テントり出品台数表彰などの表彰式を行う。

総会議案を取りまとめ 京車協の理事会で審議



京都府自動車車体整備協同組合（大嶋明理事長）は4月21日、京都自動車会館で2025年度第1回理事会を行った。24年度事業報告、決算報告など取りまとめた議案は、5月24日に開催する設立60周年記念総会に提出する。

①24年度事業報告および決算報告②25年度事業計画および収支予算③役員改選④優良従業員京車協

協理理事長表彰候補者推薦など七つの議案について審議した。

昨年度は「人材の確保と育成」をテーマにした経営セミナーや高度化車体整備技能講習の電気自動車（E V ）編など、最新技術に対応した各種研修会を実施。組合員個々のスキルアップにつながる事業に注力した。

6月と11月に特殊健康診断（一般健康診断）を行った。

実施し、組合員の健康促進を図ったほか、コンプライアンスの向上を促す活動にも取り組んだ。

新年度も引き続き教育事業に重点を置き、高度化車体整備技能講習の車体整備ガイドライン編の開催を計画に盛り込む。さらに、先進安全自動車対応優良車体整備事業者の認定取得推進、工場資格取得、環境対応、コンプライアンス順守による組合員の総合的レベルアップを支援する考え。

大嶋理事長は、国内経済の厳しい現状に触れつつ、「難局を乗り越えられるよう、新年度も組合員にとって有益な活動を行っていく」と組合運営への意気込みを示した。

このほか、設立60周年記念総会の詳細について協議し、来賓やタイムスケジュールの確認などを行った。

＊「追跡データベース—東京商工リサーチ編—」は8面に掲載。

ブロードリーフの進化しつづけるクラウド

クラウドだからできる拡張性の高いアプリケーションは業務に革新をもたらします。

いつでも、どこでも使いたい! OSS申請に対応!クラウドだから24時間申請可能! 既存顧客のキープ、新規顧客の集客に!



スタートバック Maintenance.c ¥6,700〜 (税別)/月額 Repair.c ※別途、従量課金は500円〜必要となります。

好評発売中! 「cシリーズご紹介サイト」でカンタンに料金シミュレートができます! 搭載している機能や特徴などを紹介。ご利用金額をカンタンに算出できる料金シミュレーション。自社が抱える課題などを入力することで、おすすめ構成のご利用料金を確認できます。



株式会社ブロードリーフ 〒140-0002 東京都品川区東品川4-13-14 グラスキューブ品川8F Copyright © 2022 Broadleaf Co., Ltd.

お問い合わせはこちら コンタクトセンター 0120-47-2610 受付時間 9:00〜17:30 (土日祭・年末年始を除く)